

2016年11月14日
内閣府経済財政諮問会議
2030年展望と改革タスクフォース（第4回）

資料5

日本の長期的・持続的経済成長の ために何をすべきか —世界の企業ネットワークの分析から—

早稲田大学
政治経済学術院教授
戸堂康之

今日のお話の内容

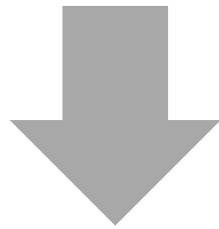
世界の企業のサプライチェーン、
資本所有、特許共同所有ネットワークを分析



日本企業の特徴をあぶりだし、
日本企業の進むべき道を示す

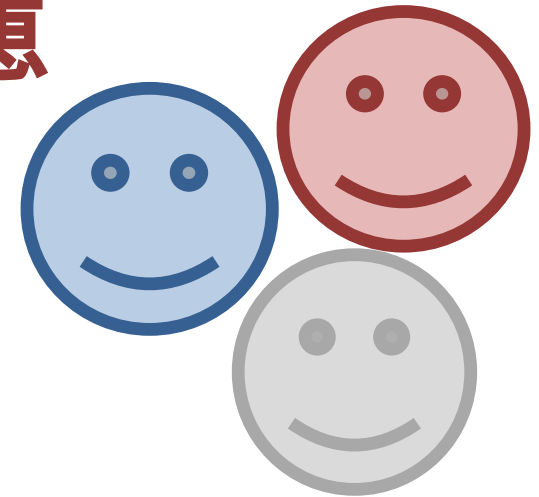
なぜネットワークが重要か？

人材の交流



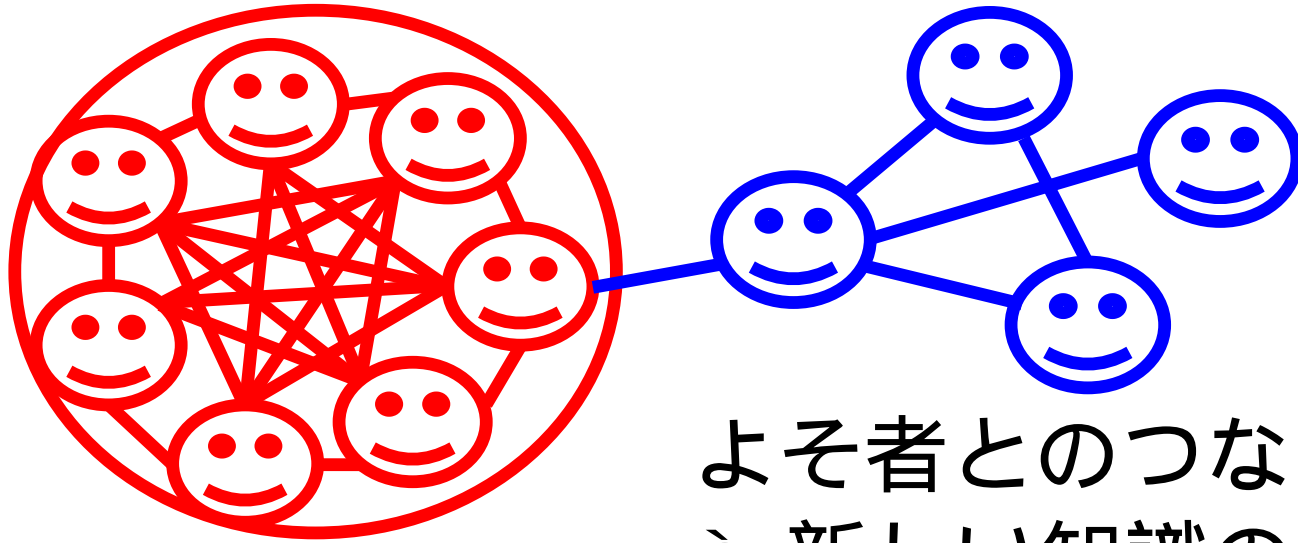
イノベーション
創意工夫

3人寄れば
文殊の知恵



人や国の
成長の
源泉

特に、多様なネットワークが必要



組織・共同体の強い絆
è 知識の共有

よそ者とのつながり
è 新しい知識の習得

イノベーション

強い絆の効用

強い絆
(信頼関係)

知識・情報の
やり取り

技術進歩

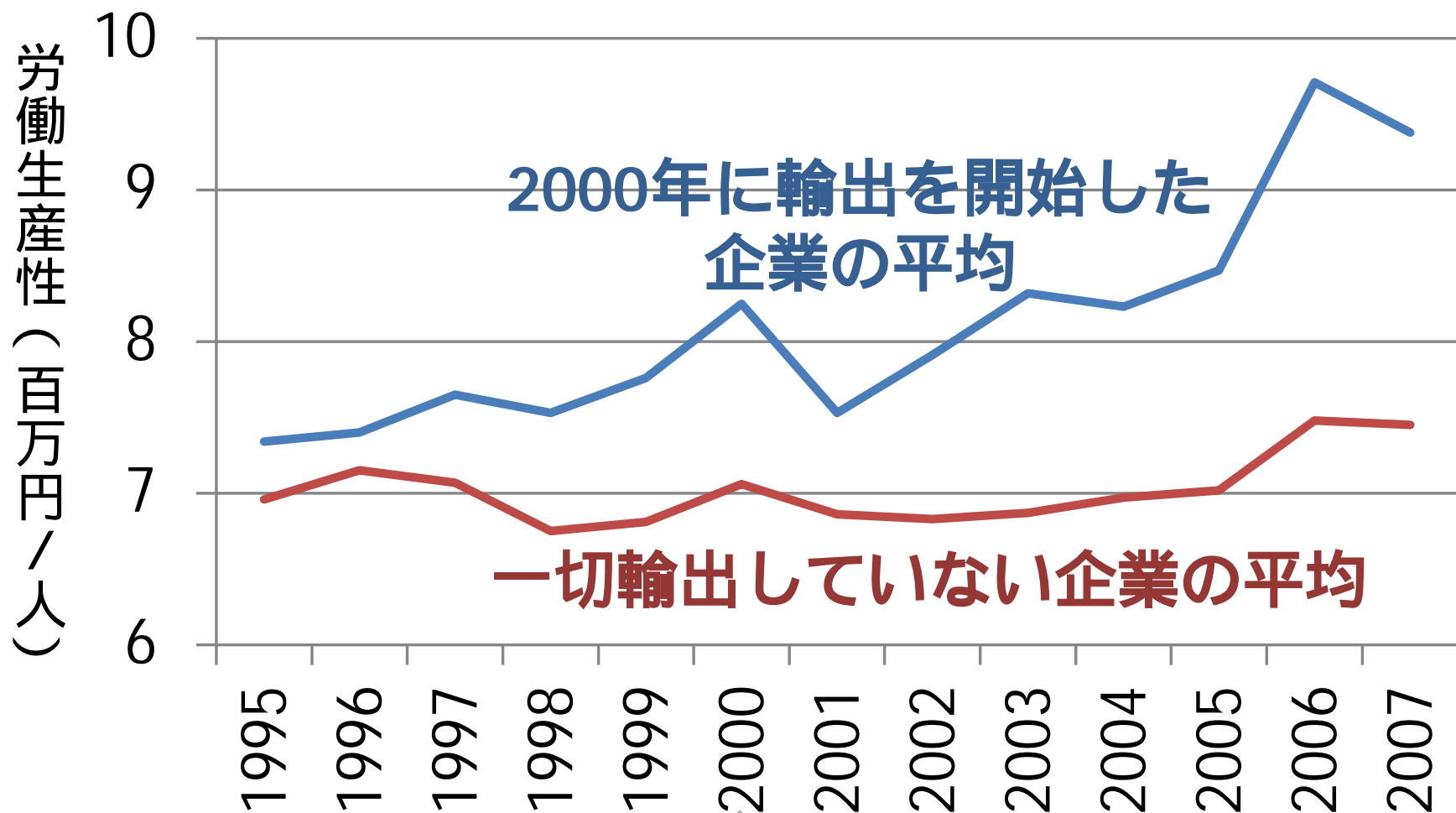
例：系列

長期的な信頼関係に
基づいて、メーカーと
サプライヤーが
技術支援、共同研究



共豊会ウェブサイト
<http://www.kyohokai.gr.jp/>

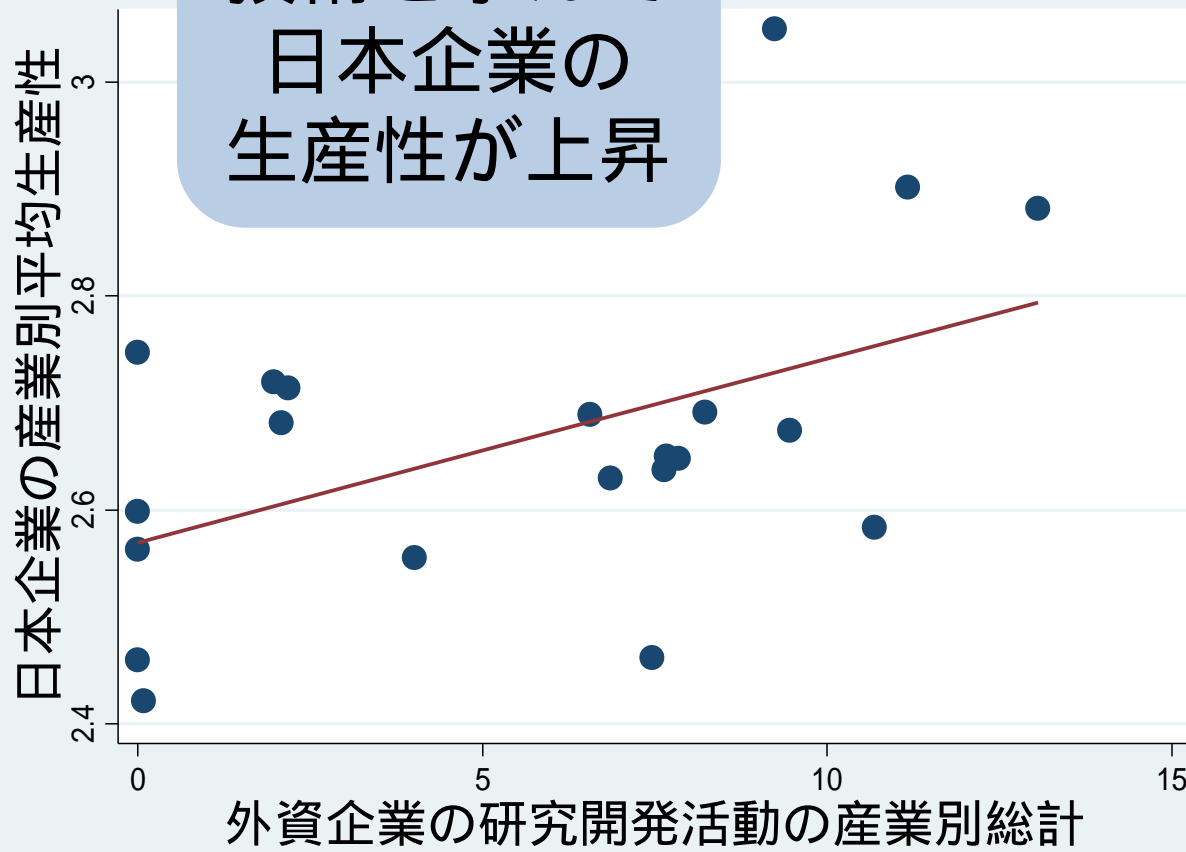
よそ者とのつながりも有効



↑
輸出開始

対日投資で日本企業も成長

外資から
技術を学んで
日本企業の
生産性が上昇



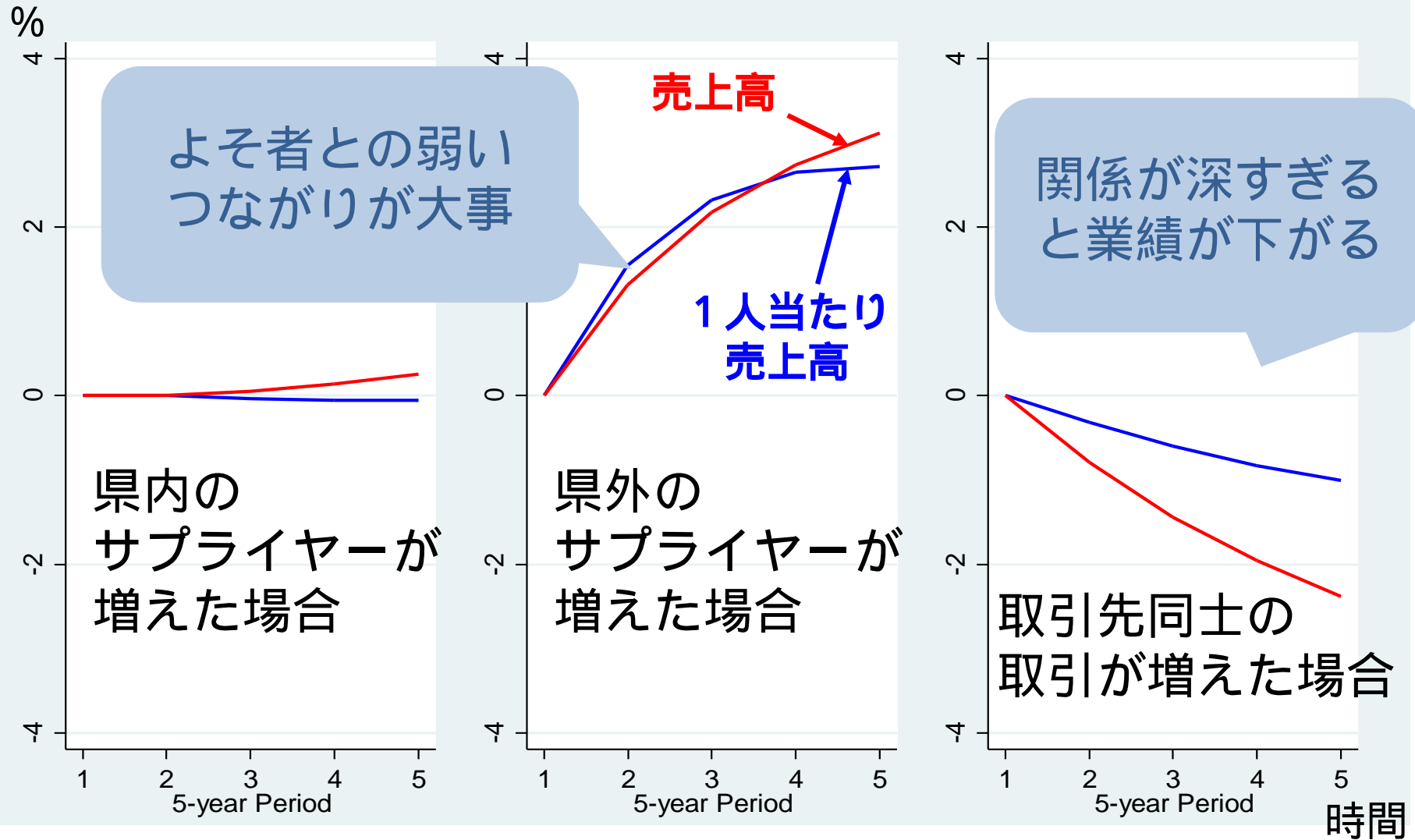
例えば

製薬世界一の
ファイザー社は
愛知県に研究所



2007年の閉鎖後に
日本人社員が
ファイザーの技術を
生かして創業

日本の製造業企業データによる分析



Todo, Matous, and Inoue (2015), "The Strength of Long Ties and the Weakness of Strong Ties: Knowledge Diffusion through Supply Chain Networks," RIETI Discussion Paper, No. 15-E-034. (日本語の解説は <http://www.rieti.go.jp/jp/publications/summary/15030017.html>)